

令和4年度における認知症の理解促進に向けた取組（案）

目的

都民の認知症に関する理解促進を図り、認知症の人とともに暮らせる社会の実現に向けた機運を醸成する。

令和4年度における主な取組

認知症シンポジウム

【概要】世界アルツハイマーデーを記念し、都民向けに認知症に関する講演、パネルディスカッション等を実施する。

【時期】令和4年9月

【規模】1回

※開催形式は新型コロナウイルスの感染状況により判断

認知症サポーターの養成

【概要】民間企業等における養成講座開催を支援する。
また、都の新規採用職員に対して養成講座を実施する。

オレンジ・ライトアップ

【概要】世界アルツハイマーデーの前後に、都庁舎をオレンジ色にライトアップし、都民の認知症に関する意識啓発を図る。

とうきょう認知症希望大使の活動

【概要】

東京都では、令和3年9月に認知症のご本人5名を「とうきょう認知症希望大使」に任命した。

令和4年度は、下記の活動を通じて大使に自らの体験や思いを発信してもらい、都民への認知症の理解の促進及び認知症の人本人からの発信を支援していく。

<活動予定(例)>

○都主催の会議・イベントへの参加 ○都HPでのメッセージ掲載 ○区市町村・関係団体が行う普及啓発イベントへの参加